

# 合併浄化槽先進地視察ツアー ～旧牧丘町、旧三富村～

日時：平成18年9月5日（火）

場所：山梨市役所牧丘庁舎、旧牧丘町・旧三富村内、峡東浄化センター

主催：桂川・東部地域協議会

参加者：協議会会員、流域市町村担当者他 28名

排水処理研究事業の一環として、今年度は市町村設置型合併浄化槽の先進地である旧牧丘町及び旧三富村を視察しました。先進地での取り組みを知り、今後の桂川流域での合併浄化槽事業の推進に活かすために、流域市町村の浄化槽担当者数名にも参加をいただき開催しました。山梨市下水道課の担当者のご協力のもと、前半に研修会、後半に見学会を実施しました。

また、当研修会終了後には、山梨市、笛吹市、甲州市、旧中道町の4市町の汚水を一括処理する「峡東浄化センター」の施設見学も行いました。



## 【研修会～山梨市牧丘庁舎にて】

山梨市下水道課の担当者より、旧牧丘町旧と三富村で進められてきた下水道及び合併浄化槽事業の概要とその経緯について説明していただきました。



今回の学習会は、桂川流域市町村の浄化槽担当者にも参加呼びかけを行い、数名の参加をいただきました。

下水道事業と比較したときの合併浄化槽のメリットについてなど、参加者からは多くの質問がありました。



## 【合併浄化槽見学～旧牧丘町】

研修会に引き続き、山梨市下水道課職員の案内のもと、旧牧丘町内の合併浄化槽1基（一般家庭、7人槽）を見学。

合併浄化槽の仕組み、各槽の役割、維持管理の仕方などについて担当者より説明していただきました。



【合併浄化槽見学～旧三富村】

同様に旧三富村の浄化槽2基（民宿・10人槽、一般家庭・7人槽）を見学。

旧三富村に関しては、市で指定した高度処理型（BOD 10 ppm）の浄化槽を設置しているとのこと。

寒冷地であるため、通常より深い位置に設置するなどの工夫もされていました。



【峡東浄化センター～施設見学】

午後から笛吹市にある峡東浄化センターに場所を移し、施設見学をしました。

下水道についての啓発ビデオの上映に引き続き、山梨県下水道公社の担当者より、当センターの仕組み等について説明がありました。

この後、担当者の案内のもと、館内設備、処理施設の順に見学を行いました。



中央管理室で処理施設の情報を一括管理。



バラエティに富んだデザインマンホール



流入水の汚れ具合、汚れが沈殿し分離する様子、また汚れを分解する微生物（ツリガネムシ、マムシなど）の様子を観察。初めて目にする微生物の様子に、参加者は興味津々。

流入水のBODは150～200 ppm。当施設で1～5 ppmにまで浄化され放流されます。





【処理施設見学～ 最初沈殿地】

足元が最初沈殿地。

ここでは汚水を約2時間ゆっくり流すことで汚れを沈ませます。

うわ水は「エアレーションタンク」へ。



【 エアレーションタンク】

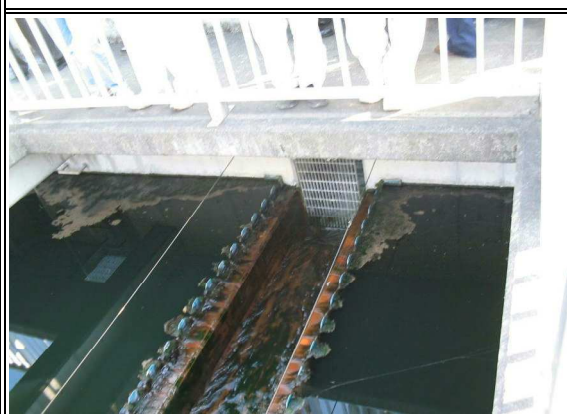
汚水の中に好気性微生物を含んだ活性汚泥を加え、空気を吹き込みながらかき回し、水中に溶けている汚れを分解したり沈みやすくしたりします。



【 最終沈殿地】

エアレーションタンクでばっ気された汚水を再び沈殿させ、澄んだうわ水を消毒し、川に放流します。

あつまった汚泥は汚泥処理施設に送られ、セメントの原料やコンポストとして再利用されるとのこと。



澄んだうわ水が放流される様子。



これにて日程終了。